

こどもたちが取材に
出掛け、広報こまきを
制作しました！



こどもたちの作った
紙面をご覧ください



えもんみっけ!
～市民レポーターのページ～

夏休み 特別企画

こども市民
レポーター

こども市民レポーターの皆さん



毎月広報こまきで掲載されている「市民レポーターのページ・えもんみっけ」は、市民レポーターが市内の企業や商店、イベントなどを市民目線で紹介するページです。

今号では、夏休み特別企画として、市内の小学5、6年生の児童10人が「こども市民レポーター」として、「ナゴヤ芯材工業」と「小牧市自動車学校」を取材し、紙面を制作しています。

こどもたちが真剣に、記事の書き方を学び、一眼レフカメラの撮り方を勉強し、本物の記者として取材を行いました。

こどもたちが頑張って作った広報こまきの記事をぜひ、ご覧ください。

こどもたちの目線で、
小牧の魅力を発見！



REPORT 1

紙の力でくらしを支える ～ナゴヤ芯材工業～

夏休みに取材へ行ったのは、ナゴヤ芯材工業です。ドアの中や机の中に使われている芯材を作っています。強く丈夫に作るためにどのような工夫があるのでしょうか。



精密なハニカムを製造しています

ナゴヤ芯材工業株式会社は、1978年に設立された主にペーパーハニカムを作る会社です。ナゴヤ芯材工業は、

「紙の力で人々の暮らしと社会を支える」を目標にし、日々活動しています。

芯材の種類と魅力

芯材の種類には、主にハニカムコアとニューダイスコアがあり、ハニカムはハチの巣型（正六角形）を隙間なく並べた構造です。軽いですが、強度があります。ハニカムの中には水酸化アルミニウム製の防火性能があるものもあります。

ニューダイスコアは四角形

事務所にあったミニチュアのドア。このように家のドアの中にもペーパーハニカムが使われています。



を並べた構造です。ハニカムコアに比べて密度が少ないため、低コストで一番売れている商品です。

用途としては、家具やドアの中、梱包材や緩衝材として使われています。コアは紙製のため向きによっては手で破れますが、面は大人が乗っても壊れません。できたときは小さくコンパクトで、使用するときには広げて使います。省スペースで保管でき、輸送費が安く済みます。このコアを芯材として入れることで、ドアが軽く、安くできます。

紙でできた花瓶

この会社では、ハニカムコアを使った商品もあります。それがフラワーベースです。



5色あるフラワーベース。使わない時は写真下の右のように折りたためます。

フラワーベースには、ドレスポットとチェンジポットがあり、ドレスポットは空のペットボトルに巻き付けることで美しいインテリアになります。チェンジポットはその名の通り形が変わります。ドレスポットと違ってペットボトルに巻き付けることはできませんが、試験管などがさせます。水を入れれば花も生けられます。フラワーベースはカラーが全五色あり、ピンク、ラベンダー、ベージュ、グリーン、オレンジがあります。



フラワーベースは名古屋には売っていませんが、東京に店舗があり、ネットでも購入できます。

今回の取材先

ナゴヤ芯材工業(株)



場所：東四丁目 155
電話：71-0111



ホームページ



Instagram

ハニカムコア構造の芯材



折りたたんだ状態のペーパーハニカム。広げると、写真上・下のように大きく広がります。



ニューダイスコア構造の芯材





くるまの妖精「こまじ」ちゃん

小牧市自動車学校は、昭和36年（1961年）に、愛知県公安委員会の指定を受けて誕生しました。その時の市長が、「まもなく小牧市に高速道路が通り、インターチェンジもできる。こ

れからは車社会の時代になるので自動車学校を創ろう」という提案から設立されたので、校名に「市」がついているのです。
敷地面積は1万1881平方メートルで、バンテリンドームナゴヤのグラウンドとほぼ同じ大きさです。建物は小牧市自動車学校の設立から変わっていません。校長先生や指導員は免許をとってもらっただけではなく、小牧市自動車学校を卒業した人には事故をおこしてほしくないという「願い」がこめられています。



踏切や信号などが揃う教習場内

安全第一！ みんなの自動車学校

小牧で唯一の自動車学校。ここでは、車の運転の練習と免許取得ができます。この学校には、どのような工夫があるのでしょうか。学校に行って、聞いてきました。



暗い道ではほとんどの人が見えません（蛍光タスキをしている人は少し見えます）。



ライトが当たると見えますが、一番左の黒い服の人はほとんど見えません。夜、暗い道を歩く時は、服の色にも気を付けましょう。

高年齢者でも安心の講習
小牧市自動車学校では高齢者講習もやっています。高齢者は反射神経や判断力がおとろえる危険性があります。70歳以上からうける講習は色々な内容がありますが、一つの例は、段差に乗る時に一度のアクセル操作で乗れるかどうかなどの講習があります。75歳以上からは、認知症ではないかを調べます。

そして運転の教習を受け、卒業検定を受けます。それに合格し、平針試験場でテストを受けます。合格して、免許



高齢者講習の様子。高齢者の人たちには軽自動車を用意されています。

免許取得への道のり

教習車には、助手席にブレーキがあったりサイドミラーの上にミラーがついていたり安全に運転できるための工夫がされています。
小牧市自動車学校へ入校するには、まず視力などの検査をします。
視力は必ず両目で0.7以上ないと、教習を受けることができません。教習では、運転のことだけではなく、交通ルールを学んだり、標識を覚えることも必要となります。この学校で取れる免許には、通常の自動車から二輪車まで7種類あります。

を取得すると、運転ができるようになります。在校生は約350~400人で、年間で約1000人が卒業しています。



講習会場です。たくさんの標識を勉強します

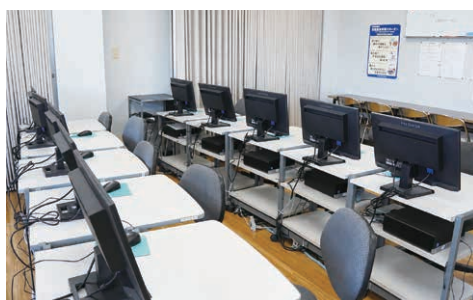
今回の取材先

小牧市自動車学校

場所：北外山6009-1
電話：77・3301



ホームページ



自習室や相談室など、在校生のための施設が充実しています。

編集



原稿やキャッチコピーを一人ひとり、真剣に書いています。

研修



初顔合わせで、緊張気味ですが、元気いっぱいのこども市民レポーターたち。真剣に説明を聞いています。

取材(小牧市自動車学校)



▲クルマの妖精・こまじちゃんと一緒に皆で記念撮影をしました。



▶片桐校長から、小牧市自動車学校の説明や交通安全への取組、地域への思いなどを聞いています。



▲運転シミュレーターを体験しています。危険体験や雨、雪、夜間などさまざまな状況の運転練習ができます。画像も鮮明で、シートやハンドルなどのパーツも本格的です。



▶3階の自習室から教習所全体を見渡しています。コンパクトに信号や踏切、坂道、段差があることに驚くこどもたち。

▶車のボンネットを開けて、エンジンやラジオエーターなど車の話を聞いています。覗き込んで、質問しているこどもたちにはビックリ！



ナゴヤ芯材工業を取材しました



船橋こはく (味噌小学校5年)

私は、7月22日にナゴヤ芯材工業へ取材に行きました。家のドア、身近なところにハニカムコアがあると知り驚きました。8月6日に編集をしました。みんなで協力して記事を書いてとても楽しかったです。



駒谷咲妃 (小牧南小学校5年)

初めての取材で緊張したけれど、丁寧に分かりやすく教えてもらえて、安心しました。たくさんのお話を聞いて、とても良い経験になりました。



伊木芽生子 (村中小学校5年)

編集日は、文章をまとめたり、写真を選んだりするのが大変だったけれど楽しかったです。また、こども市民レポーターをやりたいと思いました。



横田彩芽 (三ツ淵小学校6年)

楽しかったです。取材する時はすごく楽しく紹介していただいて、文を書く時も書きやすかったです。編集する時もみんなで案を出し合い、自分が書いた文が載ると思うとうれしいです。



伊藤瑠美 (味噌小学校6年)

こども市民レポーターに参加して、カメラを使うなどのことは、学校ではあまりできない体験なので、とても勉強になりました。研修日、取材を通して仲間と協力することの大切さを知りました。

小牧市自動車学校

校長 片桐正博さん（右）
営業課長 補佐 三品和也さん
（左上）
指導員 林嘉文さん



元気なこどもたちが来てくれて楽しかったです。今日の取材や体験を、こどもたちの交通安全や交通モラルの向上に繋げてもらいたいと思います。

ナゴヤ芯材工業(株)

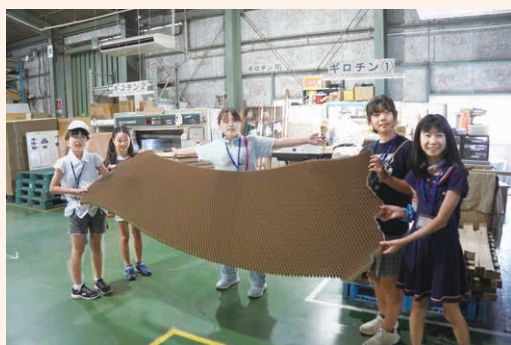
常務 加藤淳一さん（右）
野口辰也さん（左）



真剣に質問したり、メモを取ったりしていて、感心しました。弊社の商品は一般の人の目につくものではないので、いろいろな所で興味を持ってもらえればうれしいです。

取材(ナゴヤ芯材工業)

▶折り畳まれた筒状のハニカムコアを広げたら、その大きさにビックリ。ポリウレムはあるけれど、軽いので皆で持つて記念撮影です。



◀ハニカムコアを採用した椅子。どんな感じが座ってみました。安定している！



▲さまざまな構造のサンプル品を広げたり、縮めたりと理解を深めてきた？かな。

▲会社の話、ハニカム構造のこと、商品のことなど、動画を見ながら、加藤常務の説明を聞きます。一言も漏らすまいと必死にメモを取ります。

小牧市自動車学校を取材しました



三好由紀音（小牧原小学校5年）

小牧市自動車学校を見学してみて、いろんなことを知りました。教習車は普通の車と違うことと、服の明度によって夜の见やすさが違うことに一番驚きました。



丹羽蓮志（村中小学校5年）

こども市民レポーターでは、説明文の書き方が知れて良かったです。取材日では知らないことがたくさん知れて良かったです。知らない人と仲が深まったので良かったです。



熊谷八尋（光ヶ丘小学校5年）

研修日と取材日と、編集日が一番心に残っているのが取材の日です。設備について教えてもらったり、車に乗せてもらったりして、たくさん学びました。



吉村泰輔（味岡小学校6年）

初めは緊張したけど、いい感じに仲良くなったから良かった。取材日はすごく緊張したけど、楽しかった。編集日は大変だったけれど、弁当が美味しかった。



原壮生真（小牧小学校6年）

研修日、詳しい話を聞いていると、取材中は常に忙しいうことが分かりました。取材当日は聞いた通りメモをする必要があり、とても大変でした。編集日はいろいろな写真などを使ったので、難しかったです。